



ふれあい野外活動

28日(木)日山キャンプ場に行き、タテカツ(縦割り班活動)を行ってきました。目的は【縦割り班の仲間で協力してさらに仲良くなること】【自然とふれあって楽しむこと】です。

上記の目標を踏まえ、事前に班での話し合いを繰り返し、計画を立てました。当日は石や小枝、落ち葉などを使った「顔」を作る活動や昼食のバーベキューを楽しみました。

帰校後の振り返りの発表では、一人一人が「仲良く」などの目的意識をしっかりとっていたことが伝わってきました。特に高学年の子は、リーダーとしての自覚をもち、みんなのために働く姿が見られた、素晴らしい一日になりました。(ホームページに作品を掲載しています)

作品作り



バーベキュー



活動の振り返り発表



6年：YYさんの振り返り(一部抜粋です)

【顔作り】をしている時は、みんな笑顔で楽しそうだったので、私もとても楽しかったです。料理を作っている時は、みんなそっせんして「これやるよ」「次、私こっちゃやるよ」と頑張ってくれて、すごいなと思いました。作品作りも料理もとても楽しかったし、みんなで協力できてよかったです。

授業参観、ありがとうございました



9月15日(金)第3回の授業参観が行われました。お子さんの学びに向かう姿はいかがだったでしょうか。また、当日は給食試食会も実施されました。限られた予算の中、栄養士さん、調理員さん達が、子どもたちの体づくりを考え頑張ってくれています。

子どもたちの心身の成長には、学校と保護者の連携が欠かせません。今後も、日常にお子さんから学校の様子を聞いていただき、称賛や意欲付ける言葉かけをお願いします。

PTA 教育講演会からの学びを生かして

参観日に行われた PTA 教育講演会では、ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会の小杉一浩先生をお招きし、示唆に富んだお話をいただきました。具体的には、視力低下や肥満傾向の問題、ネット依存症、脳への影響などでした。

本日、別紙にて福島県校長会の「子どものネット・SNS 利用の実態」に関するアンケート結果等もお配りしました。ご一読いただき、私たち大人が子ども達をしっかりと守り、導いていきましょう。



実物を見る、触れることの大切さ

9月14日(木)福島県文化財センター白河館【まほろん】を学校にお招きし、歴史の学習をしました。デジタル化が急速に進み、ネット検索等で簡単に情報を手に入れることができる便利さの一方で、直接体験の不足が懸念されています。実際に手で触れる、目で見るといった、五感を通じた学びの重要性を忘れてはいけません。5・6年生は、本物の土器を見て、石器や動物の皮に触れ、実際に勾玉作りを行いました。体を通して学ぶ、貴重な経験でした。



岩代ロードレース大会

岩代ロードレース大会では、個々の目標に向かって、全力で頑張る姿が見られ、素晴らしかったです！

仲間に向かって熱心に声援を送る姿にも感心しました。帰校後、大会の振り返りを行い、どこまで目標に迫れたか、何を学んだかを考えさせました。

最後までやりきる体験が心と体を鍛え、自分の限界を高めていくのだと思います。全員、最後までよく頑張りました！

